

### (3-1) 生涯学習課所管事業

1. 社会教育総務費	44
2. 野々市市成人式	45
3. 学習情報提供事業	46
4. ののいち市民大学事業	47
5. 生涯学習ボランティア支援事業	48
6. 家庭教育推進事業	49
7. 青少年自然体験事業	50
8. 青少年活動支援事業	51
9. 少年育成センター運営事業	52
10. 野々市市立志式	53
11. 放課後子ども教室推進事業	54
12. 青少年健全育成地域活動推進事業	55
13. 青少年情報メディア対策関連事業	56
14. 公民館施設運営・管理	57
15. ののいちマナビィフェスタ	58
16. 寿大学事業	59
17. フォルテ児童合唱団	60
18. 地区公民館支援事業	61
19. 図書館運営・管理事業	62
20. コミュニティリビング創出プロジェクト(生涯学習課分)	63
21. 土曜日等の教育活動推進事業	64

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		社会教育総務費				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
							ソフト事業		
							単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度	
						事業終了	**	年度	
実施根拠とな る分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に			事業の目的	近隣大学や各団体と連携した社会教育の支援体制の充実を図り、市民が自主的、継続的な学習機会を得ることができ、学んだ成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築に努める。				
事業の内容	年3回の社会教育委員会議を開催し、生涯学習の推進を図る。市内で活動する社会教育団体の育成と補助金の交付を行う。			令和 2年度活 動実績	◇社会教育委員会議の開催 3回 ◇各団体への補助金の交付 女性協議会 スカウト育成会 子ども会 PTA連合会 生活学校 各種女性団体連絡協議会 青少年ボランティア団体				
事業の指 標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない			-	-	-	-	-
事業のコ スト	事業 内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0		0		
		県支出金	(千円)	0	0		0		
		地方債	(千円)	0	0		0		
		その他	(千円)	0	0		0		
		一般財源	(千円)	4,138	3,295		3,905		
		事業費計	(千円)	4,138	3,295		3,905		

実施計画

年度計 画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。

1次評価

1次評 価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理 由	社会教育の充実のため、各関係機関の代表や学識経験者からの意見を各事業に反映させることは必要である。 また、生涯学習社会の充実のため、市内社会教育団体の育成は必須である。
	C	C			
改善 点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		社会教育の充実のため、各関係機関の代表や学識経験者からの意見を各事業に反映させることは必要である。 また、生涯学習社会の充実のため、市内社会教育団体の育成は必須である。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		野々市市成人式				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					事業終了	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを目的とする。						
事業の内容	アトラクション（20年のあゆみビデオ上映）、式典、記念写真撮影、実行委員の募集		令和 2年度活動実績	令和3年1月10日(日) 午前・午後の2部制として開催 内容：アトラクション・式典 運営：実行委員会（11人）を組織し、自主的な運営を図る。 (R3実績：参加者356人 対象者777人)						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度		
	成果指標	実行委員会開催回数		回	10	4	5	5		
		参加率		%	—	50	81	50		
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算					
		国庫支出金 (千円)	0	0	0					
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	821	913	895					
		事業費計 (千円)	821	913	895					

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	実行委員会による運営を通して、新社会人の社会参加活動を推進するため、市として式典を継続して開催する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後対象人数の増加が予想されるため、開催方法について検討していく必要がある。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		学習情報提供事業				所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策		区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備								
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度			
							事業開始	**	年度	
							事業終了	**	年度	
	実施根拠とな る分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務者に		事業の目的	各種公民館サークルの活動支援						
事業の内容	公民館サークル募集のチラシを各公民館の来館者へ配布。		令和 2年度活 動実績	イベント時にサークルによる体験コーナーの実施や募集チラシの配 布等、サークル活動の啓発を行った。						
事業の指 標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	成果指標になじまない			なし	-	-	-	-	
		成果指標になじまない			なし	-	-	-	-	
事業の コスト	区分		平成31年度		令和 2年度		令和 3年度予算			
	事業 内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0	0			
		一般財源	(千円)	52	100	47				
		事業費計	(千円)	52	100	47				

実施計画

年度計 画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種公民館のサークル情報のチラシの作成</li> <li>作成したチラシの公民館、各市内公共施設来館者への配布</li> <li>広報での生涯学習施設関連情報の提供</li> <li>ブログでの公民館活動情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種公民館のサークル情報のチラシの作成</li> <li>作成したチラシの公民館、各市内公共施設来館者への配布</li> <li>広報での生涯学習施設関連情報の提供</li> <li>ブログでの公民館活動情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種公民館のサークル情報のチラシの作成</li> <li>作成したチラシの公民館、各市内公共施設来館者への配布</li> <li>広報での生涯学習施設関連情報の提供</li> <li>ブログでの公民館活動情報の提供</li> </ul>

1次評価

1次評 価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	学びの場や交流の場を求める方よりサークル情報に関する問い合わせを多く受けるため、チラシの配布は必要と考える。紙媒体に留まらずインターネットを利用した情報発信に努める。
	C	C			
改善 点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		インターネットを利用する世代を対象とした発信を目的にSNS等を活用し、発信していく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		ののいち市民大学事業				所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策		区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度			
							事業開始	**	年度	
							事業終了	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民が18歳以上の市民及び市内通勤・通学の人に		事業の目的	市内及び近隣大学と連携し、情報化や環境保全、地域文化の発信など社会の課題に対応した学びの場を地域住民に提供するとともに、一人ひとりの学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築を目指す。						
事業の内容	◇コミュニティカレッジ（市民の運営による教養講座） ◇公開講演会（放送大学と連携した公開講座） ◇市民で構成する企画委員会を開催 ※マイ・タウン塾は平成30年度が実施最終年度で、平成31年度からは実施していない（事業終了）		令和 2年度活 動実績	◇ののいちコミュニティカレッジ 14講座、延べ447人受講 ◇企画委員会 企画委員会を9回開催						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	参加者数（コミュニティカレッジ、マイ・タウン塾、公開講演会）			人	570	615	447	500	
事業の コスト	事業 費	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0		0			
		県支出金	(千円)	0	0		0			
		地方債	(千円)	0	0		0			
		その他	(千円)	0	0		0			
		一般財源	(千円)	161	139		139			
		事業費計	(千円)	161	139		139			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	コミュニティカレッジ	コミュニティカレッジ	コミュニティカレッジ

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	受講生へのアンケートには引き続き開講を希望される方が多いことから、今後も市民の方で構成される企画委員会でニーズに合った講座を企画し実施する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		現時点では受講生に年齢層の偏りが見られるので、幅広い年齢層に受講していただく為に必要な体制の構築や受講内容を検討する。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習ボランティア支援事業				所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策		区分	自治事務		
								ソフト事業		
								単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度			
							事業開始	**	年度	
						事業終了	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	町々市市民から近隣地域住民に			事業の目的	知能・技能・経験を有する地域の方を「学びのサポーター」として登録し、その活動の場を設ける。もって青少年の体験活動の機会の拡大・住民のまちづくりへの参画意識の向上・学社連携の強化を図る。					
事業の内容	・学びのサポーターの登録：サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用：「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。			令和 2年度活動実績	・学びのサポーターの登録：サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用：「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座の実施を助成。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	学びのサポーター登録・活用事業参加者数			人	300	270	185	200	
		学びのサポーター登録数			人	30	24	25	25	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度		令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0		0		0			
		県支出金 (千円)	0		0		0			
		地方債 (千円)	0		0		0			
		その他 (千円)	0		0		0			
		一般財源 (千円)	95		102		0			
		事業費計 (千円)	95		102		0			

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用：地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用：地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用：地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	サポーター登録者、活用件数を増やすため市広報やHPなどで、当事業に関する情報提供を行っている。加えて、サポーターを活用するための事業を行っている。また、「学びのサポーターとつくる夏休み体験」には毎年多くの児童が参加しており、地域人材の活躍の場となっている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市広報やHPで学びのサポーター制度の情報提供を行い、活用件数を増やしていく必要がある。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		家庭教育推進事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 4 学び合う、支え合う地域社会づくり				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
						事業終了	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育総合基本計画		根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内保護者に		事業の目的	少子高齢化や核家族化、地域コミュニティの希薄化など、保護者や子どもたちがとりまく社会環境が変化中、支え合う地域社会を目指して家庭、地域、学校の連携を強化しながら社会全体で子どもたちの成長を支援する。					
	事業の内容	◆家庭教育推進協議会の開催（年2回） ◆家庭教育に関する学習機会の提供 家庭教育学級 幼児家庭教育講座 就学児子育て講座 思春期子育て講座 ◆子育て・学習情報の提供、家庭教育支援 家庭教育サポーターの養成・活動		令和 2年度活動実績	◆家庭教育推進協議会の開催 8月と3月に開催 ◆家庭教育に関する学習機会の提供 ①家庭教育学級（3校3講座105名※PTA委託）②幼児家庭教育講座（1園15名）③就学時子育て講座（5校535名）④思春期子育て講座（2校535名） ◆子育て・学習情報の提供家庭教育支援 ののいちこどもカレンダーの作成					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	家庭教育学級への参加人数			人	800	1,048	105	300	
		家庭教育サポーター人数			人	35	23	24	21	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0		0			
		県支出金	(千円)	0	0		0			
		地方債	(千円)	0	0		0			
		その他	(千円)	0	0		0			
		一般財源	(千円)	686	315		619			
		事業費計	(千円)	686	315		619			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。家庭教育サポーター養成講座の実施。	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	人格形成の基礎である家庭教育の充実をはかることは、青少年の健全育成へつながる。各家庭の自主性を尊重しつつ、必要な取り組みを進める必要がある。インターネットを生活必需品とする現在の子育て世代に対応するため、WEB上での情報発信が求められる。一般社団法人はぐネットと協力し、ニーズを把握しながら、子育て支援情報サイトを活用した情報発信等を継続して行う。各種講座をインターネットを活用して行うことでより多くの学習機会を提供する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		インターネットを活用した情報発信が求められる。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年自然体験事業				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法			事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生に		事業の目的	人間性豊かな青少年の健全育成を図るため、地域の人々の協力を得ながら子どもたちに体験の場と機会を提供する。				
事業の内容	◇青少年自然体験：自然の中での体験教室の開催		令和 2年度活 動実績	10月31日（土）「大倉山で自然にふれて、ポッポ汽車を見てみよう！」参加者 市内小学3～6年生12人					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない			-	-	-	-	-
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	60	60	0			
		事業費計	(千円)	60	60	0			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	子どもたちの生きる力を育み、人間性豊かな青少年の育成が求められる中で、様々な体験の場と機会を提供すつ事業として重要である。令和3年度以降は野々市公民館主催の事業とする。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		予算の縮小に伴い、事業内容の見直しを行う。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年活動支援事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					事業終了	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に			事業の目的	ボランティア活動、地域交流事業を通して社会・生活体験を深め、豊かな心と実践力を養う。					
事業の内容	青少年ボランティア団体「ボランティア探検隊飛鳥」におけるボランティア活動、地域交流活動。			令和 2年度活動実績	市事業や公共施設での各種イベント補助。花いっぱい運動やクリスマス工作作りのボランティア、マナビィフェスタでの緑日コーナーの運営など。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	ボランティア探検隊飛鳥 活動日数			日	20	8	7	10	
		ボランティア探検隊飛鳥 会員数			人	30	11	11	11	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度		令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0		0		0			
		県支出金 (千円)	0		0		0			
		地方債 (千円)	0		0		0			
		その他 (千円)	0		0		0			
		一般財源 (千円)	28		29		5			
		事業費計 (千円)	28		29		5			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	福祉施設でのボランティア体験や各種イベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。	福祉施設でのボランティア体験や各種イベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。	福祉施設でのボランティア体験や各種イベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由	地域行事やボランティア活動など、普段の学校生活や家庭では中々得られない体験ができる。また、子どもたちがそれらの活動へ自発的に取り組むことで養われる福祉精神や意識は、地域社会の基盤づくりにおいても非常に重要である。今後も継続して実施したい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		ボランティア団体の新規加入者数の増加のため、市広報紙や市HPでの掲載に加え、学校等への募集チラシの配布や現会員のボランティア活動体験レポート等を通じて活動内容を広く周知する。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		少年育成センター運営事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠とな る分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内店舗及び市民に		事業の目的	地域に密着した啓発活動及び巡視活動を行い、青少年の非行防止及び育成指導を図る。					
	事業の内容	青少年の育成指導及び非行防止と健全育成事業。		令和 2年度活 動実績	専任育成指導員による巡視 育成指導員による街頭巡視活動の実施 少年育成指導員による巡視（60人） 通常及び夏休み期間 インターネット巡視活動					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	街頭巡視活動を行う人数			延べ人数	687	918	487	750	
		インターネット巡視活動を行う人数			延べ人数	170	100	181	180	
事業の コスト	事業 内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算					
		国庫支出金 (千円)	0	0	0					
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	4,966	4,914	6,455					
		事業費計 (千円)	4,966	4,914	6,455					

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	街頭巡視及びインターネット巡視活動。 運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。 運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。 運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	青少年を取り巻く環境は年々複雑さを増しており、それぞれに抱える問題の多様化や低年齢化も進んでいる。その中において、子どもたちと直接関わる街頭巡視、インターネット上の青少年に関する問題を見回るインターネット巡視は、市内青少年の育成指導や非行防止に大きな役割を果たしている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		インターネット巡視は、サービスの多様化により、巡視する側がそのサービス内容を理解していく必要がある。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		野々市市立志式				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					事業終了	**	年度			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内在住の中学2年生に		事業の目的	人生の分岐点に立つ14歳の少年少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を持つための機会とする。					
	事業の内容	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。		令和 2年度活 動実績	日程：11月25日（水） 場所：文化会館フォルテ 対象：市内在住中学2年生（505名） 内容：式典（誓いの言葉等） 講演「これからの地域社会と“自分”」 講師 池田幸應氏（金沢星稜大学 教授）					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	立志式出席者数			人	—	474	504	540	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	66	70	80				
		事業費計	(千円)	66	70	80				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	式典や講演会を通して、立志の意義を知り、大人になることへの心構えについて改めて考える機会となっている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		参加者の成長を促すような内容の講演をする必要がある。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		放課後子ども教室推進事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							補助事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(3) 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					事業終了	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～2年生に			事業の目的	放課後に地域の社会教育施設や小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境をつくる。					
事業の内容	野々市市放課後子ども教室（全教室合同） ※新型コロナウイルスの影響により合同で実施 時間 11月～2月の毎週木曜日 場所 学びの杜のいち カレード 人数 30名			令和 2年度活動実績	（学習・文化活動） バブレット・しゃぼん玉、ののいちクイズ、英語であそぼう、プラ板づくり、バックヤード見学（カレード）、フラワーアレンジメント、各種体験活動など  計13回実施					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	参加募集チラシ配布人数			人	1,200	1,200	1,200	1,200	
		参加人数			人	160	139	30	84	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0		0			
		県支出金	(千円)	1,095	331		1,412			
		地方債	(千円)	0	0		0			
		その他	(千円)	0	0		0			
		一般財源	(千円)	1,027	198		728			
		事業費計	(千円)	2,122	529		2,140			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジメント、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、なわとび、防災教室、むかし遊び、プラ板作り、バス見学、各種体験活動	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジメント、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、なわとび、防災教室、むかし遊び、プラ板作り、バス見学、各種体験活動	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジメント、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、なわとび、防災教室、むかし遊び、プラ板作り、バス見学、各種体験活動

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	継続して子どもたちに様々な体験活動を提供するため、地域と関わり合いを持ちながら地域ボランティアの確保に努めたい。事業内容を精査し新しいものを取り入れながら、放課後児童クラブとの連携事業についても推進していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		スタッフ数や会場の大さに応じて定員を決定するが、定員を超えて申込があった場合は抽選になってしまうことから、申込者数に応じたスタッフと会場の確保に努めていきたい。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年健全育成地域活動推進事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠とな る分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	家庭、学校、青少年育成関係団体及び地域住民が一体となり、地域に密着した啓発活動・実践活動を展開し、青少年の健全育成活動の推進を図る。					
	事業の内容	地域の社会環境や青少年の実態に対応した青少年健全育成事業。 （“ののいちっ子を育てる”市民会議へ委託）		令和 2年度活 動実績	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動、子どもと大人のまちぐるみ美化清掃（コロナにより中止）、メディア対策事業（コロナにより中止）。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	子どもと大人のまちぐるみ美化清掃参加者			人	12,000	9,533	0	0	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算					
		国庫支出金 (千円)	0	0	0					
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	1,732	1,710	1,752					
		事業費計 (千円)	1,732	1,710	1,752					

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	少子化や核家族化などの広がりにより、地域連携間の薄れや地域住民とふれあう機会の減少が指摘されるなか、市内の各種団体・機関で構成された市民団体により地域活動への支援は、青少年健全育成活動を進めるためには欠かせないものとなっている。地域の大人が子どもと接し、周囲から見守るこうした地道な啓発事業は継続することが重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事業を継続するとともに、活動の趣旨を広く周知する。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年情報メディア対策関連事業				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠とな る分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市内の青少年を有害情報から守り、情報社会における正しい判断力と生活習慣を養うことができるよう、各団体及び機関の自立的な取り組みを支援し、家庭・地域・学校の連携を促すための連絡調整を行う。				
事業の内容	青少年のメディア問題に関する啓発活動、実践活動を展開し、健全育成活動の効果的な推進を図る。		令和 2年度活 動実績	保護者向けメディアリテラシー研修会 ネット被害・モバイル端末マナーおよび生活習慣の啓発ペーパーク ラフト等作成・配布 情報メディア小・中学校教員研修 野々市市青少年メディア対策連絡協議会の実施（年3回）					
事業の指 標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	保護者向け研修会参加者			人	200	160	30	100
事業の コスト	事業 内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0		0		
		県支出金	(千円)	0	0		0		
		地方債	(千円)	0	0		0		
		その他	(千円)	0	0		0		
		一般財源	(千円)	500	450		500		
		事業費計	(千円)	500	450		500		

実施計画

年度計 画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	保護者向け研修会、メディア問題啓発チ ラン作成、情報モラル教育の推進等	保護者向け研修会、メディア問題啓発チ ラン作成、情報モラル教育の推進等	保護者向け研修会、メディア問題啓発チ ラン作成、情報モラル教育の推進等

1次評価

1次評 価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	子どもや保護者へ、スマートフォンやインターネット関連機器の正しい知識とそれらが子どもにあたる影響についての学習を促し、子どもを守る必要がある。
	C	C			
改善 点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		スマートフォンやインターネットの利用が増えているため、危険性に加え、生活習慣に与える影響も併せて伝えていくことが重要である。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		公民館施設運営・管理				所管	部	教育文化部			
							課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策		区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							ハード・ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし						単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	適切な施設管理運営を実施し、市民及び施設利用者に快適な施設利用環境を提供する。						
	事業の内容	(中央公民館、野々市公民館、富奥公民館、郷公民館、押野公民館、女性センター)維持管理、運営		令和 2年度活動実績	(中央公民館、野々市公民館、富奥公民館、郷公民館、押野公民館、女性センター)維持管理、運営						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度		
	成果指標	利用件数			件	5,700	5,384	4,189	5,700		
		サークル数			団体	78	65	70	75		
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算						
		国庫支出金 (千円)	0	0	0						
		県支出金 (千円)	0	0	0						
		地方債 (千円)	0	0	0						
		その他 (千円)	2,951	6,060	5,583						
		一般財源 (千円)	92,861	109,878	119,161						
		事業費計 (千円)	95,812	115,938	124,744						

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・公民館(中央・野々市・富奥(富奥防災コミュニティセンター)・郷・押野)、女性センターの維持管理、運営		

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	公民館は市民から幅広い利用があり、適切かつ計画的な維持管理が必要である。女性センターにおいては女性のニーズや社会状況にあった事業を企画することで、女性の社会参加を支援していく。富奥防災コミュニティセンターにおいては身近な防災施設として防災意識の啓発など関連事業を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民及び施設利用者に快適に使用していただけるよう、適切かつ計画的な維持管理に努める。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		ののいちマナビィフェスタ				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	事業の開始・終了年度				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	事業開始	**	年度		
	事業の内容	にぎわいの里ののいち カミーノ、学びの杜ののいち カレードを会場に市民文化祭を開催。作品展、舞台発表（カミーノステージ発表）、体験コーナー、模擬店などを実施		令和 2年度活動実績	事業終了	**	年度		
	新型コロナウィルス感染症の影響で開催日を3月に延期し、にぎわい創出のため椿まつりと同日開催とした。会場はにぎわいの里ののいち カミーノのみをメイン会場とし、音楽祭と芸能民謡祭を行わない代わりにカミーノステージ発表を充実させた。								
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	マナビィフェスタ音楽祭、芸能民謡祭参加者数			人	800	532	-	-
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	1,200	1,170	860			
		事業費計	(千円)	1,200	1,170	860			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	生涯学習の活動発表を発展させたかたちで提供をしていく。	生涯学習の活動発表を発展させたかたちで提供をしていく。	生涯学習の活動発表を発展させたかたちで提供をしていく。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	にぎわいの里ののいち カミーノを会場に、市民の学習成果を発表する機会の場のさらなる充実を図る。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後もカミーノをメイン会場とし、さらに充実した内容となるよう、他のイベントとの連携・協力を図る。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		寿大学事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 3 高齢者と障害のある方の福祉の推進 3 いきいきとした高齢期の実現			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
							ソフト事業		
							単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始	**	年度
					事業終了		**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が60歳以上の市民（大学校）、寿大学の修了者（大学院）に		事業の目的	熟年者が明るく豊かで生きがいのある生活を送るため、高齢社会における課題を把握し、学習活動を通じて知識や教養を身に付けること。また、生涯学習の推進と仲間とのふれあいの場をつくること。					
事業の内容	寿大学校：教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年22回の講座を開講する。 寿大学院：ちぎり絵、書、園芸、コーラス、健康体操ストレッチ、歴史、水墨画、加賀の国と日本文学の8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。		令和 2年度活動実績	寿大学校：教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年13回の講座を開講した。 寿大学院：ちぎり絵、書、園芸、コーラス、健康体操ストレッチ、歴史、水墨画、加賀の国と日本文学の8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行った。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	大学校受講者数			人	42	54	27	37
		大学院受講者数			人	195	261	232	237
事業の コスト	事業 内訳	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0		0		
		県支出金	(千円)	0	0		0		
		地方債	(千円)	0	0		0		
		その他	(千円)	0	0		0		
		一般財源	(千円)	1,500	1,250		1,000		
		事業費計	(千円)	1,500	1,250		1,000		

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・寿大学校：教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年22回の講座 ・寿大学院：ちぎり絵、書、園芸、コーラス、健康体操ストレッチ、歴史、水墨画、加賀の国と日本文学の8コースの実施	・寿大学校：教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年22回の講座 ・寿大学院：ちぎり絵、書、園芸、コーラス、健康体操ストレッチ、歴史、水墨画、加賀の国と日本文学の8コースの実施	・寿大学校：教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年22回の講座 ・寿大学院：ちぎり絵、書、園芸、コーラス、健康体操ストレッチ、歴史、水墨画、加賀の国と日本文学の8コースの実施

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	今後も継続して高齢者に様々な分野の学習の場を提供し、充実した生涯学習を行える環境を整えていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		高齢化に伴い、近年高齢者の学習ニーズが高まっている。結果、寿大学校において定員を上回る申し込みがあり、受講できない人も多い。市民の学習ニーズを満たすためにも受け皿を広げることを検討する。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		フォルテ児童合唱団				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
							ソフト事業		
							単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度	
						事業終了	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～6年生（中・高校生も可）に			事業の目的	コーラスを通じて色々な歌に親しみ、情緒豊かな感性を養うとともに、学校や学年を超えた仲間作りを行う。				
事業の内容	定例活動日時：毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他：他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場			令和 2年度活動実績	定例活動日時：毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他：各種コンクール、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	団員数			人	50	37	27	22
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	200	200	200			
		事業費計	(千円)	200	200	200			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	定例活動日時：毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他：他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時：毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他：他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時：毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他：他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	児童合唱団などの青少年の文化・芸術団体の文化活動推進は、青少年健全育成活動において重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		活動内容の充実を図るため、発表の機会を広げる。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		地区公民館支援事業				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
							ソフト事業		
							単独事業		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度	
						事業終了	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に			事業の目的	地域の連帯及び生涯学習意欲の向上を目指し、各地区公民館を活動の拠点として、地域に根ざした種々の行事、教室等の場を提供することにより、地域住民のより一層の向上を目指す。				
事業の内容	地区の公民館では、運動会、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。			令和 2年度活動実績	地区の公民館では、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない			-	-	-	-	-
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	3,895	4,550	4,000			
		事業費計	(千円)	3,895	4,550	4,000			

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	運営審議会での意見や住民の要望を取り入れながら、地域に根ざした事業を実施していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		近年、郷公民館のウォーキングや富奥公民館の文芸講座など、地域色のある事業を新しく始めた。今後もこのような事業を発展させていくとともに、地域課題や地区住民のニーズに合った新たな事業を実施できるよう支援する。		

# 令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

## 事業概要

事務又は事業の名称		図書館運営・管理事業				所管	部	教育文化部			
						課	生涯学習課				
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策		区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		事業開始	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	図書館法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民、市内勤務・通学の方、石川中央都市圏の住民に。		事業の目的	利用者が必要とする多様な資料や情報の提供ならびに市民の読書を推進する。						
事業の内容	資料の収集、整理、提供、図書の貸出・返却等業務、レファレンスサービス、学校図書館の支援及び連絡車の運行、ボランティアの育成及び活用、市民学習センターの運営など。		令和 2年度活動実績	図書館と市民学習センターの複合施設であるメリットを生かし、図書展示、展覧会、ワークショップ、クイズラリー等、様々な事業を実施した。							
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度		
	成果指標	貸出冊数			冊	—	618,956	530,759	500,000		
		貸出人数			人	—	146,067	117,070	125,000		
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度		令和 2年度		令和 3年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0		0		0				
		県支出金 (千円)	0		0		0				
		地方債 (千円)	0		0		0				
		その他 (千円)	11,809		4,874		5,364				
		一般財源 (千円)	301,572		312,544		322,895				
		事業費計 (千円)	313,381		317,418		328,259				

## 実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き民間事業者による図書館運営	引き続き民間事業者による図書館運営	引き続き民間事業者による図書館運営

## 1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数や貸出冊数は前年度を下回ったものの、依然として多くの市民に利用されていることから、今後も蔵書や行事の新鮮さに気を配りながら、現状維持に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民にとっての利用しやすさを重視したサービスが行われるよう、事業者に対し、必要な協力・支援を行っていく。 また、カミーンやフォルテ、カメラなどの施設と連携し、野々市中央地区のにぎわい創出に資する事業を実施する。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		コミュニティリビング創出プロジェクト（生涯学習課分）				所管	部	教育文化部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	13 公有地・施設の計画的管理・活用					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	なし		根拠法令	なし		事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民全般に		事業の目的	野々市中央地区に賑わいを創出する		事業開始	平成30	年度
	事業の内容	野々市中央地区に賑わいを創出するため、にぎわいの里のいちカミーノを活用した事業を行う。 その事業の担い手として、事業企画推進員を育成する。		令和 2年度活動実績	事業企画推進協議会の活動として、カミーノにおいて、季節に合わせた展示を5回開催し、これに伴うワークショップも1回開催した。また、カミーノ2周年記念事業企画し、実施した。ののいちGENK1イルミネーションプロジェクトに実行委員会として参加した。		事業終了	令和3	年度
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	中央公民館入館者数		人	55,000	156,260	110,731	100,000	
事業のコスト	事業内訳	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	285	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	358	2,110	200			
		事業費計	(千円)	643	2,110	200			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業企画推進協議会補助金 事業内容は未定	事業企画推進協議会補助金 事業内容は未定	事業企画推進協議会補助金 事業内容は未定

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	事業企画推進協議会として、カミーノの賑わい創出のために季節展示・ワークショップなどの企画・実施を行ったり、カミーノ2周年記念事業の企画・実施などにも携わった。委員の活発な意見交換が行われ、イベントの実施に向けた準備などについてのスキルも向上している。今後は、カミーノだけではなく、カレードや他地区公民館との連携など、活躍の場を広げていく。
	A	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事業企画推進協議会として、カミーノの賑わい創出のために季節展示・ワークショップなどの企画・実施を行ったり、カミーノ2周年記念事業の企画・実施などにも携わった。委員の活発な意見交換が行われ、イベントの実施に向けた準備などについてのスキルも向上している。今後は、カミーノだけではなく、カレードや他地区公民館との連携など、活躍の場を広げていく。また、活動のPRや委員の募集にも力を入れていく。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		土曜日等の教育活動推進事業				所管	部	教育文化部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生を対象に		事業の目的	土曜日等における子どもの教育活動を市内の学校や公共施設等を活用して実施することにより、子どもたちの体験活動の機会を広げる。また、地域の大人の事業運営や事業への参加をとおり、子どもの育成に関わる大人を増やし、地域社会全体における子どもたちを心豊かに育む気運を高める。					
事業の内容	土曜日や長期休暇に子どもミュージアムの実施		令和 2年度活動実績	夏季休暇2日間、土曜日1日実施 内容：プログラミング、アート、英語、デザイン工房						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	参加人数			人	200	174	74	180	
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	158	166	200				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	142	134	100				
		事業費計	(千円)	300	300	300				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	プログラミング、音楽、アート、デザイン工房、サイエンス等	プログラミング、音楽、アート、デザイン工房、サイエンス等	プログラミング、音楽、アート、デザイン工房、サイエンス等

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	学校や家庭ではできない体験活動を継続して提供していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		小学生を対象として実施しているが、中学生を対象に加える等、対象年齢や内容を充実させるよう検討していきたい。		

### ・(3-2) 学識経験者からの意見

#### 【生涯学習、青少年、図書館関係】

青少年のボランティアなどの体験活動は、学校や学年を超えた仲間づくりに繋がる事業であり、児童生徒の豊かな人間性、情緒豊かな感性の育成にとって大切なものであるため、参加者はたとえ少人数であっても、継続いただきたいです。

放課後子ども教室や土曜日等の教育活動は、地域で子どもたちを育てる一環として、スタッフの掘り起こしや他機関との連携を図って推進していくべき事業です。地道に協力してくれるスタッフを多く確保し、もっと多くの子どもたちが参加できるように努めてください。

これからの事業運営には、様々な場面でICT技術が生きてきます。子育て講座の内容や家庭教育に関する話、講話をウェブ等でも発信し、いつでも都合の良いときに見られるようにしてはどうでしょうか。公民館サークル活動のブログによる発信も、これから活動を検討している方々へのPRになります。同時に、各団体が連携してスマホやインターネットの使い方等の保護者向け研修会、青少年健全育成のための情報モラル教育の推進、ネット巡視などを進めていただきたいです。

カミーノを拠点に活動している事業企画推進協議会は、展示やワークショップなどを工夫し、野々市中央地区の賑わい創出に成果を上げてこられたと考えます。地区公民館や様々な団体などとの連携を進め、活動の幅を広げていただきたいです。

コロナ禍により、社会教育の様々な活動が制限されていますが、感染予防対策を講じて子どもたちの体験活動の機会を広げて欲しいです。また、これを機に地区公民館で地域に根差した地域独自の新たな事業が開拓されることに期待します。

### ・(3-3) 今後の方針

#### 【生涯学習、青少年、図書館関係】

- ①子どもたちが地域社会の中で学ぶ体験は貴重であると考え、できるだけ多くの子どもが参加できること、また地域の大人が学びに関わることを大切にしながら、事業を行っていきます。
- ②放課後子ども教室の需要の高まりを受け、スタッフの充足に注力します。その際、関連事業や他機関との連携によるマンパワーの確保について検討するほか、ボランティア活動が生きがいに結び付く有意義な学習機会であることを周知していきます。
- ③地域住民の皆様が、何らかの形で、青少年の健全育成に関わっていただける仕組みとして、街頭巡視や美化清掃などの取り組みを継続していきます。  
また、家庭教育事業等においてはインターネット等を有効活用した情報発信を検討していくとともに、子どもだけでなく大人も含めた、情報モラル教室の推進、情報リテラシーの向上に努めます。
- ④カレードとカミーノで、現在行っている野々市中央地区の賑わい創出をテーマとした連携事業は継続し、さらに、将来的な市全体の賑わい創出を見据え、地区公民館事業との連携や事業企画推進協議会の活動の充実を図っていきます。
- ⑤新型コロナウイルス感染予防に十分配慮した上で運営方法を工夫し、コロナ禍にあっても市民の学びの機会ができるだけ失われないように努めてまいります。